

今月の谷口雅春先生のお言葉

明るいい心と表情で家族は幸福になる

自分の雰囲気は家族に影響を与えている

人間を善くしようと思うならば、それは自分の子供の教育であつても、また社会的に人間一般の改善であつても、^{まず}自分自身をよく観察して見て、「自分」とは如何なるものであるかを知らなければならぬのである。自分は如何なる雰囲気を出しているか。これを知ることが第一である。雰囲気とは、自分が周囲に発散さすところの何となき精神的な匂いとか、精神的な空気と云うようなものである。この雰囲気が周囲の人々に非常な影響を

与えるものである。母親の精神雰囲気は最も児童に影響を与えるものであり、夫の精神雰囲気は妻に最も影響を与えるものであり、妻の精神雰囲気は夫に最も影響を与えるものである。(新装新版『真理』第2巻250～251頁)

まず母親みずからが善くなることから

子供は最も多く母親のなすこと、いうことの影響を受けるのでありますから、母親の性質と^{しこうもち}か心持、態度と、いうものが子供に最も多く現れて来るのであります。でありますから、皆さんがお子さんにもっとよい性質がほ

しいと思われたら、先^まず自らを省みて自分がよくなって頂くことが肝腎なのであります。

子供というものは、「お前は悪い悪い」と叱^{しか}つてもなかなかよくなるものではありません。常に善い方面を見るようにして、悪は見ずに、子供の完全円満な実相を見るようにして、それを賞^ほめ言葉で誘導していれば必ずよくなって来るのであります。(中略)命令や吩咐^{いいつけ}よりも、行いで手本を示されますと、子供は直^すぐその真似^{まね}をするものでありますから、常に子供によい実例を示し、常によき行為の模範になることが大切であります。

(新編『生命の實相』第22巻71〜72頁)

幸福とは心が楽しい生活

明るい生活の中にはすべての善いものが集^あってくるのです。昔から「笑う門には福来たる」という諺^{ことわざ}があります。昔から「笑う門には福来たる」という諺^{ことわざ}があります。にこにこ笑っていると、自然に善いことが集^あってくるのです。人をたのしく愉快にしてあげることが美

しい行いであり善いことであります。その楽しく愉快にしてあげるには、色々の贈物^{おくりもの}をさしあげるのも、一つの方法でありますけれども、物をさしあげなくとも吾々^{われわれ}がにこにこたのしい顔つきをして、たのしい心を他の人に移してやればそれが最も深切^{しんせつ}な、人に幸福を与える方法であります。

家の中に一人でも不機嫌な人がありますと、その家の人達の心全体が乱れてくるのです。そして家族は始終病氣^{おもしろ}をしたり、面白くないことばかり起^{おこ}ってくるのです。そんな家に住んでいる人は、お金が百万円つんであつても幸福だといふことはできません。幸福な生活とは心がたのしい生活です。家族互いにうれしそうな顔をしてにこにこせずにはいられない生活が幸福な生活です。

(新版『生活読本』135〜136頁)

あなたの明るい心が必要なのです

うれしい顔をするには何の資本もありません。深切^{しんせつ}な

目付きをするにも何の資本もいらぬのです。吾々は、この人をよろこばしてあげたいとただ思うだけで深切な顔になれたり、愉快な微笑を顔に浮べたりできるのです。あなたの愉快な顔つきは曇った日にさしこんで来た太陽の光のようなものです。周囲の人が苦虫をかみつぶしたような顔をしていればいるほど、あなたの明るい顔が必要なのです。どんな富や財産をもっているよりも明るい心をもっているものは、もっとも尊い宝をもっているものだといわなければなりません。

(新版『生活読本』144頁)

愉快な輝かしい顔から幸福があらわれる

まずあなたの顔を鏡にうつしてごらんなさい。当り前にしている時の心持でわざと顔の表情をかえないで、今あるままの顔で、口をボンヤリ開いているならば開いているままで、眉をしかめているならばしかめているままで、ソーツと今あなたの机の上にある手鏡を、あなた

の顔の前に持つてお出でなさい。そして、その鏡の中にうつっている自分の顔をごらんなさい。あなたの顔は明るい気持の好い顔をしておりますか。あなたの今のその顔は自分でも好きですか。自分でもいやになるような陰気な顔をしておられはしませんか。口がポカンとあいている癖があったら、これから常に心を引締めて物を言わない時には、口がしっかりつぐんでいる習慣をつけましょう。眉をひそめている習慣があるのは、心が常にイライラしているか、あせっているか、悲しんでいるか、狭い心でいる証拠ですから、眉を左右に伸ばしてのんびりとした広々とした愉快な気持におんななさい。そして口のあたりに微笑をたたえて、すべての物にほほえみかける気持になんなさい。そういう人は人生の宝です。世の中が世智辛くなって、みんながイライラした顔をしている中に、そういう愉快な輝かしい顔をしている人は人生の宝です。人生の宝ならば、あちらからも、こちらからも、来てほしいという人が沢山あって、思わぬ幸福はそこから生れて来るのです。(新版『生活読本』144～145頁)